

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

大阪府泉大津市 泉大津市立周産期小児医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	学術・研究機関出身 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド透未訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
72,762	19,313	非該当	非該当	7：1

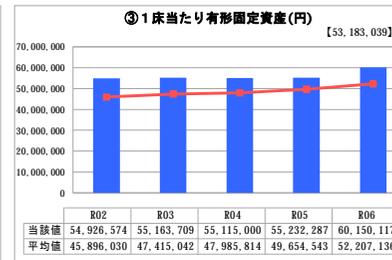
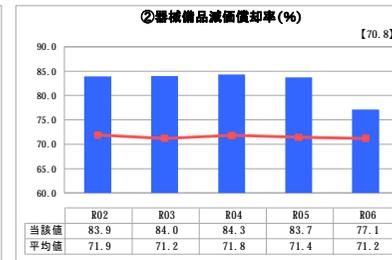
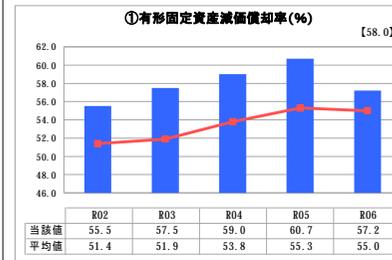
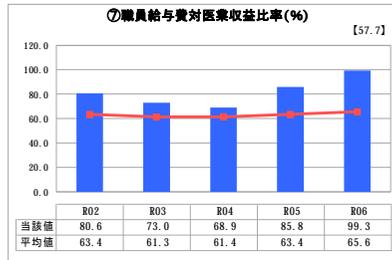
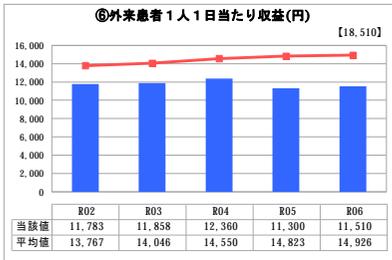
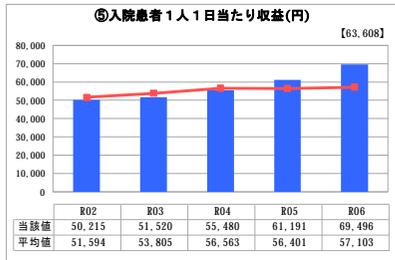
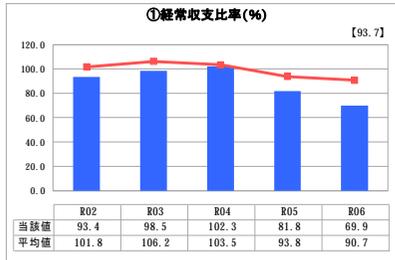
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
230	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	230
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
79	-	79

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
[ ]	令和6年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分化・運営強化 (経営の明確化・ネットワーク化を目的)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和6年度	-	-
年度	-	-
年度	-	-

### I 地域において担っている役割

当院は、民間病院との統合・再編に伴い、令和6年12月から周産期医療および小児医療に特化した専門医療機関として新たにスタートした。

統合・再編前は、市民の健康を守る総合病院として地域医療に貢献してきたが、統合・再編後は周産期医療と小児医療を当院が専門的に担い、その他の急性期医療については新設の「泉大津急性期メディカルセンター」が担う体制となっている。

今後は、安心して出産や子育てができる環境維持に努め、引き続き地域医療に貢献していく。

### II 分析編

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、民間病院との統合・再編に伴い、診療科の縮小を見越して患者受け入れを抑制したほか、廃止予定の消化器内科や眼科にかかる患者には早期転院を推奨するなどの対応を行ったため、医療収益が大幅に減少している。

令和6年12月からは、当院の強みである周産期医療および小児医療に特化した体制へ再編し、統合・再編の連携相手である府中病院から妊産婦を受け入れることで、安定した収支の確保を目指していく。

#### 2. 老朽化の状況について

令和6年12月の統合・再編に伴い、大規模な改修や新たな医療機器の導入を行ったが、現在の建物は平成10年に建て替え、地域周産期母子医療センターは平成22年に整備されたものとなっている。そのため、施設全体の老朽度を示す有形固定資産の減価償却率は年々上昇傾向にあり、令和6年度は改修や新たな機器の導入を行ったことで昨年度より数値が低下したものの、類似病院の平均を上回っている。また、器械備品の減価償却率も同様に平均を超えているため、施設および器械備品の計画的な更新が必要であると考えられる。

#### 全体総括

令和6年12月から、強みである周産期医療及び小児医療に特化した専門医療機関として新たなスタートを切り、令和7年度以降は、統合・再編前に比べて安定した患者数の確保が見込まれる一方で、人件費の増加や物価高騰による経費の上昇が予想されるため、収支面での課題も残る。今後は、経営管理の徹底と専門性を活かした診療体制の強化により、経営の健全性と効率性の両立を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

大阪府泉大津市 泉大津急性期メディカルセンター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	26	対象	透I訓方	救 臨 が 輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
72,762	30,531	非該当	非該当	7:1

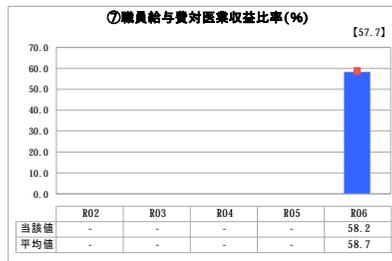
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

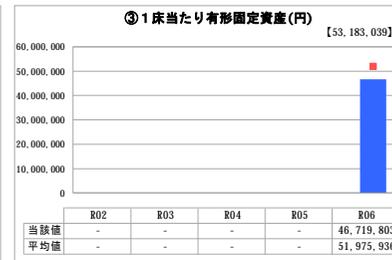
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
300	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	300
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
284	-	284

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 経営強化に係る主な取組(直近の実施時期)

業務分化・運営強化 (経営の明確化・ネットワーク化を目的)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和6年度	-年度	令和6年度

### I 地域において担っている役割

泉大津急性期メディカルセンターは、泉大津市立病院と民間病院との統合・再編に伴い新設された病院である。令和6年12月に開院し、泉大津市立病院が担っていた周産期医療及び小児医療以外の総合病院としての役割を引き継いでいる。  
特色は、24時間365日体制で対応する「救急医療」、ロボット支援手術を含む「がん医療」、そしてライフラインを72時間確保する「災害医療」の三つとなっており、これらを柱として、地域の基幹病院として地域の医療や福祉の向上に貢献していくことになる。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年12月に開院したため、令和6年度の収支状況だけで経営状況を判断することは難しい。ただ、開院後は入院・外来患者数ともに徐々に増加傾向にあり、令和7年度の各種比率や病床稼働率は、令和6年度より改善することが見込まれる。

#### 2. 老朽化の状況について

令和6年8月に竣工したばかりの建物であるため、老朽化については問題視していないが、長期的な視点から適切な維持管理に努め、建物を良好な状態で保っていく。

#### 全体総括

泉大津急性期メディカルセンターは指定管理者制度を導入しており、管理運営は民間事業者が担っている。開院当初から新たな患者獲得に向けたさまざまな取り組みを行うとともに、民間の強みを活かした経営削減にも努めている。これにより、民間の経営ノウハウを注ぎ込んだ安定的な病院経営を見込んでいる。  
令和7年度を本格的な始動年度と位置づけ、収支の安定確保に一層取り組んでいく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。